

I 日本赤十字社徳島県支部事務局

I 日本赤十字社徳島県支部

I 支部事務局の概要

1 沿革

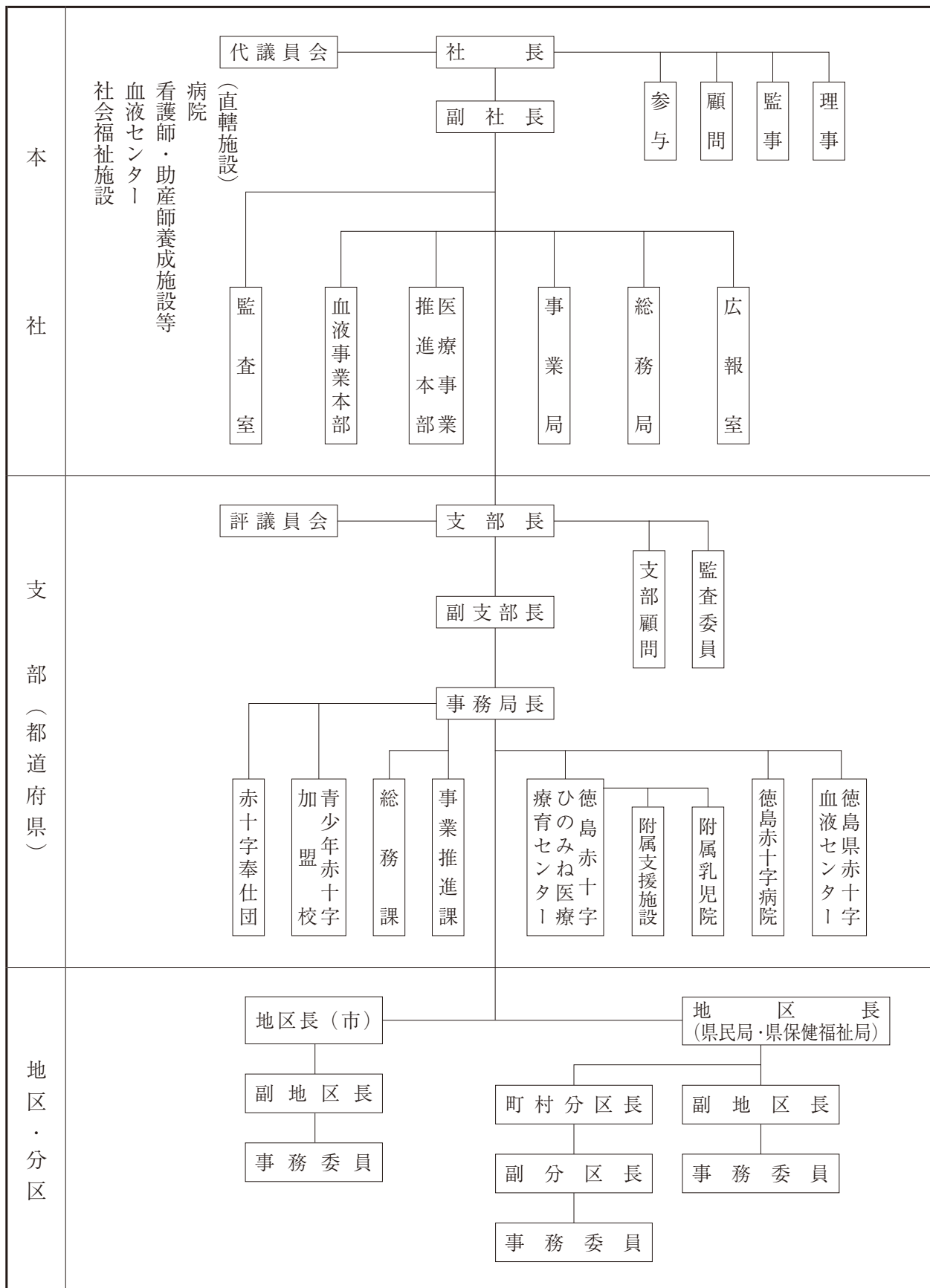
年 月 日	事 項
明治20. 10. 28	四国の他の3県にさがけ日本赤十字社徳島県委員部として創立、初代委員長に酒井明氏が就任
27. 11. 27	日本赤十字社徳島県委員部は各県に支部制がしかれ、日本赤十字社徳島支部と改称 初代支部長に村上義雄氏が就任
昭和20. 7. 4	徳島本町にあった支部社屋が戦災により焼失し、翌5日北常三島町2丁目の民家を借り業務を開始
22. 9. 27	初の民間人支部長に奥村嘉蔵氏が就任
23. 9. 1	徳島本町の旧敷地内に木造平屋の支部社屋を再建
27. 10. 31	新定款の制定により日本赤十字社徳島県支部と改称
35. 3. 13	徳島市新蔵町1丁目の県有地647.20㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建（一部4階）延面積953.35㎡の支部社屋を建設
42. 1. 6	奥村嘉蔵氏死去により支部長辞任
6. 3	第38代支部長に武市恭信氏が就任
56. 10. 12	武市恭信氏、支部長辞任
13	第39代支部長に三木申三氏が就任
58. 11. 26	徳島市庄町3丁目12-1の県有地3,378.81㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建の本館延面積861.84㎡及び鉄筋平屋建の倉庫及び車庫延面積280.58㎡、合計延面積1,142.42㎡の新社屋建設 ※同県有地内に血液センター社屋及び車庫総延面積2,559.96㎡も同時建設
59. 3. 10	徳島市新蔵町1丁目の旧社屋を解体
62. 11. 25	名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えして支部創立百周年記念赤十字大会を開催
平成5. 10. 4	三木申三氏、支部長辞任
5	第40代支部長に圓藤寿穂氏が就任
9. 7. 23	皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして第33回献血運動推進全国大会を開催
14. 3. 17	圓藤寿穂氏、支部長辞任
18	第40代支部長職務代理に副支部長藤野井親仁氏が就任
5. 22	第41代支部長に大田正氏が就任
15. 5. 29	大田正氏、支部長辞任
6. 4	第42代支部長に飯泉嘉門氏が就任
16. 9. 9	吉野川市鴨島町に赤十字防災センターを設置

年 月 日	事 項
平成19. 12. 6	名誉副総裁高円宮妃殿下をお迎えして支部創立百二十周年記念赤十字大会を開催
23. 9. 8	板東俘虜収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）に「赤十字ゆかりの地モニュメント」を設置
27. 5. 1	支部事務局 1 階玄関ホールに「赤十字展示コーナー」を設置
29. 4. 22	支部創立百三十周年記念展「今に生きる『人道博愛の心』－美術
～ 6. 11	に見る日本赤十字社の歩み－」を徳島県立近代美術館で開催
9. 7	海部郡牟岐町に赤十字南部救護倉庫を設置
12. 6	名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下をお迎えして支部創立百三十周年記念赤十字大会を開催
30. 3. 31	吉野川市鴨島町の赤十字防災センターを廃止
4. 24	「とくしま赤十字災害救護サポートセンター」を開所

2 組 織

日本赤十字社の組織

(令和5年4月1日現在)



3 役員・評議員

(1) 役員名簿

(令和5年4月1日現在)

役 職 名		氏 名	住 所	備 考
支 部 役 員	支 部 長	飯 泉 嘉 門	徳島市万代町	徳 島 県 知 事
	副支部長	内 藤 佐和子	徳島市幸町	徳 島 市 長
		影 治 信 良	海部郡美波町	徳島県町村会長・美波町長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	徳 島 県 赤 十 字 有 功 会 長 (株)阿波銀行 取締役相談役
	監査委員	原 孝 仁	鳴門市撫養町	公 認 会 計 士
		川 長 光 男	阿南市柳島町	元徳島県町村会常務理事
	顧 問	小 森 將 晴	鳴門市北灘町	元日本赤十字社徳島県支部事務局長

本 社 役 員	理 事	川 島 周	徳島市北佐古1	川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長
	代 議 員	川 島 周	徳島市北佐古1	川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	徳 島 県 赤 十 字 有 功 会 長 (株)阿波銀行 取締役相談役

(2) 評議員名簿

(任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日)

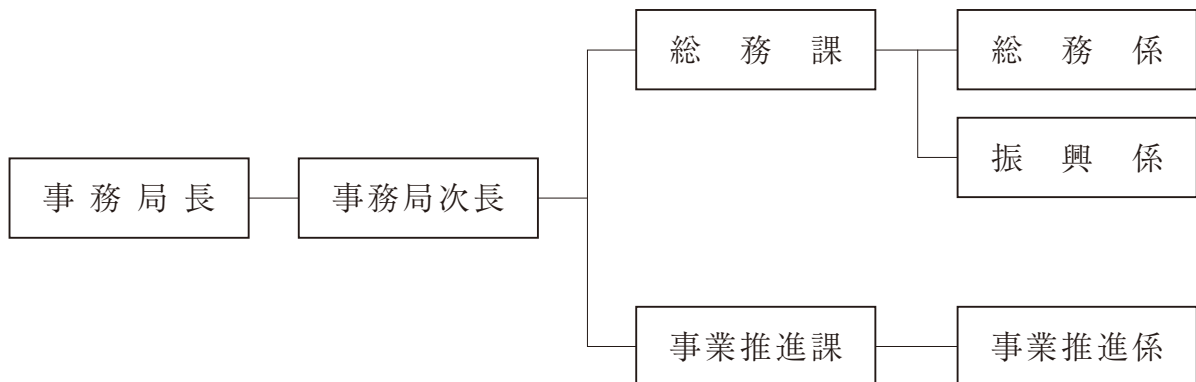
(令和5年4月1日現在)

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
徳 島 市	阿 部 和 英	徳島市南末広町	徳島商工会議所会頭
	宇都宮 正 登	徳島市幸町 3	徳 島 市 医 師 会 長
	米 田 豊 彦	徳島市中徳島町 2	徳 島 新 聞 社 長 理 事 会 長
	松 本 侯	徳島市北田宮 1	徳島県歯科医師会長
	板 東 恵 子	徳島市南沖洲	徳島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
鳴 門 市	泉 理 彦	鳴門市撫養町	鳴 門 市 長
	矢 野 壽美子	鳴門市撫養町	鳴門市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
小 松 島 市	中 山 俊 雄	小松島市横須町	小 松 島 市 長
	竹 島 由美子	小松島市櫛渕町	小松島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 南 市	表 原 立 磨	阿南市富岡町	阿 南 市 長
	紅 露 清 恵	阿南市桑野町	阿南市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
吉 野 川 市	原 井 敬	吉野川市鴨島町	吉 野 川 市 長
	喜 島 寧 子	吉野川市鴨島町	吉野川市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 波 市	藤 井 正 助	阿波市市場町	元 阿 波 市 長
美 馬 市	加 美 一 成	美馬市穴吹町	美 馬 市 長
三 好 市	高 井 美 穂	三好市池田町	三 好 市 長

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
東 部	花 本 靖	勝浦郡上勝町	上 勝 町 長
	後 藤 正 和	名西郡神山町	神 山 町 長
	吉 田 直 人	板野郡松茂町	松 茂 町 長
	高 橋 英 夫	板野郡藍住町	藍 住 町 長
	松 田 卓 男	板野郡上板町	上 板 町 長
南 部	坂 口 博 文	那賀郡那賀町	那 賀 町 長
	三 浦 茂 貴	海部郡海陽町	海 陽 町 長
西 部	兼 西 茂	美馬郡つるぎ町	つ る ぎ 町 長
	松 浦 敬 治	三好郡東みよし町	東 み よ し 町 長
支部長選出	岡 田 好 史	徳島市西船場 2	徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行 取締役相談役
	森 口 浩 徳	徳島市万代町 1	徳島県保健福祉部長
	藤 田 育 美	美馬市脇町	赤十字奉仕団徳島県 支 部 委 員 長
	三 井 敏 之	徳島市城南町	青少年赤十字徳島県 指 導 者 協 議 会 長

4 支部事務局

(1) 組 織



(2) 職員の現員（令和5年4月1日現在） 8名

Ⅱ 重 点 事 項

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命に基づき、各種人道活動を展開した。

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

(1) 年間を通じた広報活動の強化

県内各地の幹線道路沿いに設置している赤十字看板や、のぼり、ケーブルテレビ等を活用して地域に根ざした広報活動を展開するとともに、新聞やホームページ等様々な媒体による情報発信を行い、「赤十字活動の見える化」を推進した。

(2) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道沿いに赤十字旗や青少年赤十字100周年を記念した旗・幟等を掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」の沿道ポールにバナーフラッグを掲揚し、赤十字思想の普及に努めた。

(3) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会におけるライフプランに応じた赤十字支援の方法（遺産や相続財産の寄付、御香典からの寄付等）について、関係機関の協力を得ながら積極的な情報発信に努めた。

(4) 日本赤十字社功労表彰の実施

赤十字奉仕団員や地区・分区役員等、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、赤十字活動への更なる理解と協力を呼びかけた。

(5) 企業等と連携した赤十字活動の推進

企業等の社会貢献活動と連携して、「赤十字活動支援自動販売機」や「チャリティーボックス（募金箱）」の設置など、身近で手軽に赤十字活動を支援できる環境の整備に努めた。

2 災害救護

(1) 災害救護体制の強化

医療救護班や日赤 DMAT、被災地の保健医療をコーディネートする日赤災害医療コーディネートチーム等を編成し、各種訓練や研修等を実施して、災害対応力の向上を図った。

(2) 大規模災害時における避難者支援体制の強化

大規模災害時の長期避難生活において、特に支援が必要な乳児及び要配慮者に特化した当支部オリジナル「段ボールベッド」を地区・分区に配備し、全市町村（地区・分区）への配備が完了した。

(3) 地域における防災・減災事業の推進

地域における「自助」「共助」の力を高めるために、赤十字防災セミナーを実施し、災害の基礎知識や災害への備えについての講話をはじめ、感染症流行下における避難所運営に必要な知識・技術の普及を図った。

3 赤十字救急法等の普及活動

(1) ICT を活用した新たな赤十字講習の普及

感染症拡大や重複する講習ニーズに対応するために「オンライン講習」を新たに導入し、多くの人々に効果的に一次救命処置の知識と技術の普及を図った。

(2) 県民のニーズに合わせた各種講習内容の充実

救急法や幼児安全法においては、感染防止対策として蘇生人形の代わりにペットボトルを活用した心肺蘇生講習を実施するとともに、感染症に関する知識や正しい手洗い方法の啓発、オンラインによる講習等、県民のニーズに合わせた講習を推進した。

4 赤十字奉仕団活動

(1) 赤十字奉仕団の活性化

地域のニーズに対応した奉仕団活動を広く周知し、新たな奉仕団員を募集するためのチラシを作成・配付するとともに、モデル奉仕団活動等を通して、奉仕団活動の活性化に努めた。

(2) 災害に強い地域づくりへの貢献

当支部が県内各地域に配備している「災害用移動炊飯器」や「災害時活動用テント」を活用した炊き出し訓練等を実施するとともに、地区・分区へ配備した当支部オリジナル「段ボールベッド」の設営訓練等を行い、地域の防災力の向上に努めた。

(3) 未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及

青少年赤十字加盟校の児童・生徒等を対象に、赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」の上演活動を通して、未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及を図った。

5 青少年赤十字

(1) 「青少年赤十字創設100周年記念事業」の実施

青少年赤十字100周年を記念し、「思いやり」や「優しさ」に関する作品コンクールを実施し、児童・生徒の「人道のこころ」の醸成と青少年赤十字活動の理解促進、活性化を図った。

(2) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標掲げる青少年赤十字の普及を図るため、未加盟の学校に対し加盟を促進した。

6 国際活動

(1) 「海外救援金」の募集及び「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する紛争や自然災害等による犠牲者・被災者の緊急救援等を行うための「救援金」を募集するとともに、開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために「海外たすけあい」募金キャンペーンを実施した。

(2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

日本赤十字社中国・四国各県支部と連携し、アジア・大洋州地域における「給水・衛生キット」の配備をはじめとした給水・衛生活動の支援を行った。

Ⅲ 事業の実施状況

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

新型コロナウイルス感染症の流行により、社資募集をとりまく環境は非常に厳しい状況となったが、地区・分区や赤十字奉仕団、赤十字協賛委員、赤十字有功会、各種ボランティア等の協力と会員の支援を得て、次のとおり実績をあげることができた。

(1) 社資募集実績表

項 目		目標額（円）	実績額（円）	達成率（％）
一 般 社 資		139,000,000	157,804,428	113.5
内 訳	社 費	129,000,000	98,709,795	76.5
	寄 付 金	10,000,000	57,228,134	572.3
	指定寄付金	0	1,866,499	－
法 人 社 資		18,000,000	59,419,563	330.1
内 訳	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	16,000,000	57,419,563	358.9
合 計		157,000,000	217,223,991	138.4

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(2) 地区別社費実績表

年度別 地区名	令和4年度			令和3年度		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市区 地区	45,201,000	25,377,050	56.1	44,957,000	24,033,889	53.5
鳴門市区 地区	9,395,000	8,734,716	93.0	9,519,000	8,855,562	93.0
小松島市区 地区	6,225,000	2,025,400	32.5	6,203,000	2,105,344	33.9
阿南市区 地区	11,804,000	10,973,280	93.0	11,779,000	11,057,315	93.9
吉野川市区 地区	6,574,000	5,992,600	91.2	6,581,000	6,178,800	93.9
阿波市区 地区	5,783,000	4,997,150	86.4	5,823,000	4,958,100	85.1
美馬市区 地区	4,708,000	4,051,964	86.1	4,757,000	4,347,500	91.4
三好市区 地区	4,052,000	4,431,652	109.4	4,118,000	4,705,201	114.3
東部地区	23,184,000	12,858,207	55.5	23,086,000	11,816,654	51.2
南部地区	4,479,000	4,461,575	99.6	4,533,000	4,456,354	98.3
西部地区	3,595,000	3,811,036	106.0	3,644,000	4,091,436	112.3
その他	4,000,000	10,995,165	274.9	4,000,000	11,716,643	292.9
計	129,000,000	98,709,795	76.5	129,000,000	98,322,798	76.2

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(3) 分区域社費実績表

年度別 地区・分区分名		令和4年度			令和3年度		
		目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市地区		45,201,000	25,377,050	56.1	44,957,000	24,033,889	53.5
鳴門市地区		9,395,000	8,734,716	93.0	9,519,000	8,855,562	93.0
小松島市地区		6,225,000	2,025,400	32.5	6,203,000	2,105,344	33.9
阿南市地区		11,804,000	10,973,280	93.0	11,779,000	11,057,315	93.9
吉野川市地区		6,574,000	5,992,600	91.2	6,581,000	6,178,800	93.9
阿波市地区		5,783,000	4,997,150	86.4	5,823,000	4,958,100	85.1
美馬市地区		4,708,000	4,051,964	86.1	4,757,000	4,347,500	91.4
三好市地区		4,052,000	4,431,652	109.4	4,118,000	4,705,201	114.3
東部地区	勝浦町分区分	814,000	917,200	112.7	818,000	934,000	114.2
	上勝町分区分	248,000	264,500	106.7	246,000	274,200	111.5
	佐那河内村分区分	344,000	469,100	136.4	351,000	500,100	142.5
	石井町分区分	4,229,000	2,299,250	54.4	4,226,000	2,262,350	53.5
	神山町分区分	810,000	903,000	111.5	818,000	899,900	110.0
	松茂町分区分	2,505,000	1,866,003	74.5	2,530,000	1,416,303	56.0
	北島町分区分	4,027,000	2,182,654	54.2	3,930,000	1,468,801	37.4
	藍住町分区分	6,133,000	1,482,800	24.2	6,069,000	1,557,200	25.7
	板野町分区分	2,172,000	1,017,000	46.8	2,183,000	1,005,400	46.1
	上板町分区分	1,902,000	1,456,700	76.6	1,915,000	1,498,400	78.2
	計	23,184,000	12,858,207	55.5	23,086,000	11,816,654	51.2
南部地区	那賀町分区分	1,278,000	1,224,200	95.8	1,289,000	1,353,100	105.0
	美波町分区分	1,071,000	1,150,580	107.4	1,091,000	1,134,250	104.0
	牟岐町分区分	652,000	717,895	110.1	665,000	711,004	106.9
	海陽町分区分	1,478,000	1,368,900	92.6	1,488,000	1,258,000	84.5
	計	4,479,000	4,461,575	99.6	4,533,000	4,456,354	98.3
西部地区	つるぎ町分区分	1,350,000	1,545,796	114.5	1,388,000	1,535,736	110.6
	東みよし町分区分	2,245,000	2,265,240	100.9	2,256,000	2,555,700	113.3
	計	3,595,000	3,811,036	106.0	3,644,000	4,091,436	112.3
その他		4,000,000	10,995,165	274.9	4,000,000	11,716,643	292.9
計		129,000,000	98,709,795	76.5	129,000,000	98,322,798	76.2

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(4) 年度別社資実績状況

年度	項 目	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)
平成 30 年 度	一 般 社 資	139,000,000	213,897,523	153.9
	社 費 金	129,000,000	106,738,392	82.7
	寄 付 金	9,000,000	106,094,131	1,178.8
	指 定 寄 付 金	1,000,000	1,065,000	106.5
	法 人 社 資	18,000,000	52,915,497	294.0
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	50,915,497	318.2
	計	157,000,000	266,813,020	169.9
令 和 元 年 度	一 般 社 資	139,000,000	131,041,415	94.3
	社 費 金	129,000,000	105,128,654	81.5
	寄 付 金	9,000,000	24,837,761	276.0
	指 定 寄 付 金	1,000,000	1,075,000	107.5
	法 人 社 資	18,000,000	66,714,750	370.6
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	そ の 他 社 資	18,000,000	66,714,750	370.6
	計	157,000,000	197,756,165	126.0
令 和 2 年 度	一 般 社 資	139,000,000	138,379,086	99.6
	社 費 金	129,000,000	111,769,262	86.6
	寄 付 金	10,000,000	26,609,824	266.1
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	法 人 社 資	18,000,000	49,522,081	275.1
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	47,522,081	297.0
	計	157,000,000	187,901,167	119.7
令 和 3 年 度	一 般 社 資	139,000,000	136,765,146	98.4
	社 費 金	129,000,000	98,322,798	76.2
	寄 付 金	10,000,000	38,442,348	384.4
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	法 人 社 資	18,000,000	40,384,584	224.4
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	38,384,584	239.9
	計	157,000,000	177,149,730	112.8
令 和 4 年 度	一 般 社 資	139,000,000	157,804,428	113.5
	社 費 金	129,000,000	98,709,795	76.5
	寄 付 金	10,000,000	57,228,134	572.3
	指 定 寄 付 金	0	1,866,499	—
	法 人 社 資	18,000,000	59,419,563	330.1
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	57,419,563	358.9
	計	157,000,000	217,223,991	138.4

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(5) 年間を通した広報活動の強化

① 赤十字看板や懸垂幕による広報

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続するとともに、地区・分区の協力を得て行政庁舎(藍住町役場)に新たに懸垂幕を設置し、「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動原資が赤十字活動支援費であることを広く啓発した。



藍住町役場に設置した赤十字懸垂幕

② 地域に根ざした広報活動の展開

赤十字運動月間を中心に、地域の人々が集まる公共施設等に地区・分区、赤十字奉仕団等の協力を得て「赤十字のほり」を設置するとともに、四国放送及び県内ケーブルテレビ局の協力を得てスポット CM を放送するなど、地域に根ざした広報活動を展開した。

(6) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間を中心に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道沿いに赤十字フラッグを掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅一番町商店街」に立ち並ぶ20本のポールにバナーフラッグを設置して、赤十字思想の普及を図った。



ケンチョピアで実施したフラッグキャンペーン

(7) 赤十字事業説明バス

地域で赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団や自治会、町内会等を対象に実施した。

赤十字の仕組みと活動に関する説明や救護倉庫の見学、非常食の炊き出し体験等を行うとともに、板東俘虜収容所跡地に設置している「赤十字ゆかりの地」を見学し、赤十字活動への理解促進に努めた。
なお、実施状況は次のとおりである。



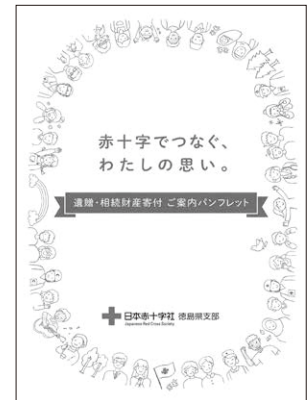
救援物資の説明を受ける参加者

No.	実施年月日	対 象	参加者数(名)
1	令和4年11月1日	勝浦町婦人会	15名
2	11月30日	国府女性会	14名
3	令和5年2月28日	那賀川婦人会	21名

※ 新型コロナウイルス感染防止対策として、20名程度を定員として実施した。

(8) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会を迎え、御香典の寄付や相続財産の寄付、遺贈等の相談が寄せられている中で、ライフプランに応じた赤十字支援の方法について、ホームページでの広報活動を行うとともに、遺贈等について分かりやすく説明したパンフレットを関係機関へ送付するなど積極的な情報発信を行った。



遺贈等について説明したパンフレット

(9) 日本赤十字社功労表彰の実施

長年、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、地域に根ざした赤十字活動の更なる進展を図った。

なお、例年開催している「赤十字の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

(10) 企業等と連携した赤十字活動の推進

企業等の社会貢献活動と連携して、新たに3台の「赤十字活動支援自動販売機」を設置するとともに、「チャリティーボックス（募金箱）」設置場所の拡充を図り、身近で手軽に赤十字支援ができる環境を整備した。

また、自動販売機や募金箱に赤十字マークや人道活動の内容をデザインすることにより、赤十字活動の啓発に努めた。

なお、自動販売機の設置状況は次のとおりである。



東みよし町に設置した支援自動販売機



赤十字チャリティーボックス

(令和5年3月31日現在)

No.	市町村名	設 置 場 所	No.	市町村名	設 置 場 所
1	徳島市	株式会社阿波銀行 本店	51	小松島市	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
2		株式会社阿波銀行 本店	52		徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院
3		株式会社阿波銀行 本店	53		徳島赤十字病院
4		株式会社阿波銀行 本店	54		徳島赤十字病院
5		株式会社阿波銀行 事務センター	55		徳島赤十字病院 工事現場*
6		株式会社阿波銀行 事務センター	56		徳島赤十字病院 工事現場*
7		株式会社阿波銀行 本店営業部	57	阿南市	日亜化学工業株式会社
8		阿波銀住友生命ビル*	58		日亜化学工業株式会社
9		あわぎん相談プラザ	59		日亜化学工業株式会社
10		株式会社阿波銀行 研修所	60		阿南川島クリニック
11		株式会社阿波銀行 研修所	61		キョーエイ 羽ノ浦店
12		株式会社阿波銀行 福島支店	62		本庄公会堂
13		株式会社阿波銀行 昭和町支店	63	吉野川市	長生町自販機コーナー
14		株式会社阿波銀行 川内支店*	64		原嘉彦氏所有地
15		株式会社阿波銀行 徳島北支店	65		日本フネン株式会社
16		株式会社阿波銀行 中洲管理センター	66		鴨島川島クリニック
17		株式会社阿波銀行 新町ビル前公園*	67		株式会社阿波銀行 鴨島支店*
18		沖洲コミュニティセンター*	68		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
19		徳島県医師会館	69	阿波市	株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
20		徳島県医師会館*	70		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
21		キョーエイ 沖浜店	71		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
22		キョーエイ 山城橋店	72		阿波中央バス
23		キョーエイ 三ッ合橋店	73	美馬市	有限会社三宅生コン*
24		ショッピングプラザタクト	74		株式会社北岡組
25		川島病院	75	石井町	株式会社阿波銀行 石井支店
26		川島病院	76	松茂町	徳島阿波おどり空港
27		川島透析クリニック	77		株式会社阿波銀行 松茂支店
28		川島透析クリニック	78	北島町	四国化工機株式会社
29		川島透析クリニック	79		キョーエイ 北島店
30		川島透析クリニック	80		株式会社渡辺不動産*
31		川島透析クリニック	81		渡辺不動産サンチュールリップタウン*
32		川島病院 工事現場*	82		株式会社阿波銀行 北島支店
33		川島病院 工事現場*	83	藍住町	キョーエイ 笠木店
34		社会福祉法人飛鳥	84		株式会社吉岡組*
35		社会福祉法人飛鳥	85		稲次整形外科病院
36		社会福祉法人飛鳥	86		かねこみそ株式会社
37		阿波製紙株式会社	87		かねこみそ株式会社
38		一般社団法人徳島新聞社	88		かねこみそ株式会社
39		徳農種苗株式会社	89	板野町	藍住川島クリニック
40		徳農種苗株式会社	90		藍住川島クリニック
41		高橋利弘氏所有地	91		上田託也氏所有地
42		岸化学グループ	92		テック情報株式会社
43		喜多機械産業株式会社	93	美波町	美波町国民健康保険美波病院
44		リハビリテーション大神子病院	94		美波町医療保健センター
45		日本赤十字社徳島県支部	95	海陽町	株式会社丸本
46	鳴門市	キョーエイ 鳴門店	96		株式会社丸本
47		鳴門クルーズサービス有限会社	97		株式会社丸本ホットフーズ
48		日亜化学工業株式会社	98	つるぎ町	カラオケコスモス
49	小松島市	徳島赤十字ひのみね医療療育センター	99	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
50		徳島赤十字ひのみね医療療育センター	100		三好デイサービスセンターさざんか荘

※ 網掛けは、令和4年度に設置した支援自販機

※ *印は、一時待避または撤去した支援自販機

2 災害救護体制の充実・強化

今後30年以内に70～80%の確率で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめ、日本各地で激甚化、頻発化する豪雨災害等の自然災害に備え、災害発生直後から慢性期までの医療救護活動が迅速かつ的確に展開できるよう、各種救護訓練や研修等を通して、救護体制の強化に努めた。

(1) 救護班の編成

医師や看護師、薬剤師等で編成する常備医療救護班をはじめ、災害急性期に活動するための専門的な訓練を受けたDMATや、災害時における心理的苦痛の予防と軽減を図るためのこころのケア指導者の育成、また被災地の保健医療調整本部等で保健医療に関するコーディネート業務を担う「日赤災害医療コーディネートチーム」を編成するなど、有事即応の体制を整えている。

常備医療救護班等の編成状況は、次のとおりである。

① 常備医療救護班の編成

(人)

施設名 \ 職種	医師 (班長)	臨床研修医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事 (自動車操作員を兼ねる)	福祉 専門職	計
徳島赤十字病院 (5 個班)	5	12	5	20	5	5	—	52
徳島赤十字ひのみね 医療療育センター (1 個班)	1	—	1	4	1	1	—	8
徳島県赤十字血液センター (1 個班)	1	—	1	4	—	2	—	8
徳島赤十字ひのみね 医療療育センター 附属乳児院	—	—	—	1	—	—	1	2
計 (7 個班)	7	12	7	29	6	8	1	70

(注) 1 個班の編成基準

医 師 1 人 看護師長 1 人 看護師 4 人
 薬剤師 1 人 主事（自動車操作員を兼ねる） 1 人 計 8 人

※徳島赤十字病院は、1 個班あたり 2 名～ 3 名の臨床研修医師を加えて編成

※徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院は、被災地のニーズにあわせ、臨機に救護班に加わり活動する。

② 日赤徳島 DMAT [災害派遣医療チーム] (3チーム) (人)

施設名 \ 職種	医 師	看 護 師	業務調整員
日本赤十字社徳島県支部	－	－	1
徳島赤十字病院	4	10	12

(注) 1チームの編成基準 (基本)

医師 1 人 看護師 2 人 業務調整員 1 人 計 4 人

③ 日赤災害医療コーディネートチーム (2チーム) (人)

名称 \ 職種	医 師	看護師	事務職員	計
災害医療コーディネーター	2	－	－	2
災害医療コーディネートスタッフ	－	2	4	6

(注) 1チームの編成基準 (基本)

医師 1 人 看護師・事務職員等 3 人 計 4 人

④ こころのケア指導者 (人)

施設名 \ 職種	看 護 師	公認心理師 臨床心理士	計
徳島赤十字病院	8	－	8
徳島赤十字ひのみね医療療育センター	4	1	5

(2) 各種災害救護訓練・研修等の実施及び参加

救護活動に必要な知識と技術を習得するため、全救護班要員を対象とした基礎研修会や救護班主事を対象とした実働研修等を実施した。

また、地方自治体等が主催する訓練等に積極的に参加するとともに、日本赤十字社本社等が主催する各種研修にも参加し、災害対応力の向上に努めた。



救護訓練で、負傷者の手当を行う
徳島県支部の救護員

① 支部が主催する救護員に対する研修の実施

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)
令和4年 4月9日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修	小松島市	111
7月1日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員主事研修	徳島市	12

② 日本赤十字社本社並びに中国四国ブロックが実施する研修会

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設
令和4年 9月10日 ～11日	日赤災害医療コーディネート研修会 (指導スタッフ対象)	東京都	－	1
10月22日 ～23日	全国赤十字救護班研修会 (指導スタッフ対象)	東京都	－	1
11月5日 ～6日	日本赤十字社第5ブロック各県支部 日赤災害医療コーディネートチーム研修会	広島県	1	1
令和5年 1月21日 ～22日	日赤災害医療コーディネート研修会	東京都	－	1

③ 他機関が実施する災害救護訓練等

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設
令和4年 9月1日	徳島県総合防災訓練	三好市	2	－
10月30日	中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練	阿南市	1	6
12月20日	徳島県国民保護共同実動訓練	鳴門市	－	5
令和5年 1月23日	徳島県国民保護共同図上訓練	徳島市	1	1

④ DMAT 関係訓練・研修への参加

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設
令和4年 7月23日 ～24日	四国 DMAT 実働訓練	高知県	－	6
10月1日	大規模地震時医療活動訓練	三重県	－	1
11月23日 ～24日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修	高知県	－	3
令和5年 1月21日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修	香川県	－	1
3月3日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修	広島県	1	1
3月14日 ～17日	日本 DMAT 隊員養成研修	香川県	－	2

(3) 鳥取県支部との合同研修会の実施

近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に対応するため、日本赤十字社第5ブロック災害救護運用マニュアル等の計画に基づき、鳥取県支部との合同研修会を令和5年2月に実施し、被災想定を考慮した医療救護班の参集訓練をはじめ、両県の災害医療や救護体制等についての研修を行った。



本県の災害医療について、鳥取県支部救護員に説明する当支部の災害医療コーディネーター

(4) 救護物資及び救護資材

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、救護所及び後方支援の拠点として設置する天候万能型フレーム一体式テントをはじめ、赤十字の救護活動を自己完結するための車両として救護員輸送車等を整備している。

また、東日本大震災を教訓に、原子力災害の発生やその恐れがある場合に対応するためのデジタル個人線量計や防護服セット等、災害対応能力強化を図るための資器材も整備し、災害に備えている。



三好市池田町に新たに設置した西部災害救護倉庫

平成29年に県南部の牟岐町に設置した南部救護倉庫に続き、令和5年2月に県西部の篤志家から寄贈を受けた三好市池田町の土地に、新たに災害救護倉庫を設置し、災害救護体制の強化を図った。

① 救護装備一覧

(令和5年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害救援車（普通自動車）	4台	防護マスク	12個
災害救援車（トラック）	1台	防護服	12着
フレーム一体式テント	2張	デジタル個人線量計	7台
エアータント	2張	防護服セット	7セット
除染テント	1張	寝袋	49枚
簡単テント	2張	敷きマット	28枚
パイプテント	1張	エア枕	500個
救護所用冷暖房機	3台	救命胴衣	10着
発電機	5台	災害用移動炊飯器	4基

品 名	数 量	品 名	数 量
投光器	19台	衛星携帯電話（モバイル）	1台
医療セット	2セット	衛星携帯電話（車載）	1台
初動用医療セット	1セット	簡易無線機	7台
折り畳み寝台	21台	業務用無線局（150MHz）基地局	4台
担架	12本	〃 移動局	10台
担架台	4組	業務用無線局（400MHz）基地局	1台
バックボード	4台	〃 移動局	22台
ラップ式簡易トイレ	12台	アマチュア無線機	14台
簡易型トイレ	53個	充電式 LED ライト	19台
災害救護用自転車	1台	折り畳みテーブル	10台
カセットガスストーブ	5台	ハイブリッド発電機	7台
スポットクーラー	2台	弾性ストッキング	1,000足
折り畳みチェア	30脚	段ボールベッド（要配慮者用）	50セット
災害用アルミボート（船外機付）	1艇	段ボールベッド（乳児用）	50セット
蓄電池（大）	2セット	災害用段ボールトイレ	40個
蓄電池（小）	3セット	非常用トイレセット（袋・凝固剤）	10個

② 南部救護倉庫収納資機材一覧

（令和5年3月31日現在）

品 名	数 量	品 名	数 量
災害対策用ワンタッチ多目的テント	1式	ラップ式トイレ専用折り畳み個室	2個
全方位型 LED 投光器	2台	簡易型トイレ	10個
発電発電機	2台	個室型ワンタッチテント	10張
コードリール	2本	備蓄用長尺トイレトーパー	10ロール
担架	2本	災害用段ボールトイレ	30個
折り畳み寝台	10台	非常用トイレセット（袋・凝固剤）	10個
テーブル・椅子セット	3セット	ガソリン携行缶	1個
折り畳みリヤカー	1台	災害用移動炊飯器	2基
台車	1台	カセットコンロ・カセットガス	1セット
ノーパンク折り畳み自転車	1台	大型やかん	1個
折り畳み式ホワイトボード	2台	大型なべ	1個
トリアージタグ	200枚	毛布	240枚
防水型メガホン	2台	緊急セット	30セット
防水シート	3箱	安眠セット	60セット
シャベル	3本	大判バスタオル	120枚
救助用レンジャーロープ	1本	タオルケット	120枚
遠赤石油ストーブ	2台	タオル・石けん	1箱
保存用飲料水	108ℓ	段ボールベッド	10個
ラップ式移動型トイレ	2台	間仕切り	10個

③ 西部救護倉庫収納資機材一覧

(令和5年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害時活動用テント(付属品含)	2張	ラップ式移動型トイレ(付属品含)	1セット
災害用移動炊飯器(付属品含)	2台	災害用段ボールトイレ	30個
折りたたみ机	4台	非常用トイレセット(袋・凝固剤)	10個
折りたたみ椅子	16脚	備蓄用トイレトーパー	1箱
防水シート	10枚	ライティングシート	2本
投光器	4台		

④ 救援物資備蓄状況

(令和5年3月31日現在)

区 分	前年度繰越数	県外からの受入数	本年度購入数	計①	本年度払出数	その他払出数	計②	残数 ①－②
毛 布	2,883	0	0	2,883	35	0	35	2,848
緊急セット	1,140	0	0	1,140	22	46	68	1,072
安眠セット	375	0	0	375	0	0	0	375
大判バスタオル	980	0	0	980	0	0	0	980
タオルケット	849	0	0	849	0	0	0	849



毛布



緊急セット



大判バスタオル



安眠セット



タオルケット

(5) 災害用移動炊飯器を活用した炊き出し訓練の実施

県下216カ所の学校や公民館等に配備している災害用移動炊飯器を活用し、赤十字奉仕団等が各地域で炊き出し訓練等を実施し、災害に強い地域づくりや災害への備えを進めるとともに、災害時の食に対する支援体制の充実・強化を図った。



地域で災害用移動炊飯器を活用して、炊き出し訓練を行う地域赤十字奉仕団

① 災害用移動炊飯器設置状況

(令和5年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	31	徳島市	八万中央コミュニティセンター
2		内町小学校	32		夷山緑地
3		出来島公園防災倉庫	33		八万小学校
4		新町公民館	34		八万南小学校
5		西富田コミュニティセンター	35		城南高等学校
6		東富田コミュニティセンター	36		ふれあい健康館
7		昭和コミュニティセンター	37		勝占中部コミュニティセンター
8		徳島市昭和地区猪之津株式会社 昭和倉庫	38		勝占東部コミュニティセンター
9		渭東コミュニティセンター	39		方上公民館
10		渭東コミュニティセンター	40		論田小学校
11		住吉・城東コミュニティセンター	41		多家良中央コミュニティセンター
12		徳島商業高等学校	42		丈六コミュニティセンター
13		徳島中学校	43		上八万地区ボランティアセンター
14		渭北コミュニティセンター	44		上八万小学校
15		佐古コミュニティセンター	45		一宮小学校
16		佐古コミュニティセンター	46		入田コミュニティセンター
17		沖洲コミュニティセンター	47		入田中学校
18		沖洲小学校	48		不動コミュニティセンター
19		津田コミュニティセンター	49		川内町民会館
20		津田中学校	50		川内町民会館
21		津田小学校	51		川内南小学校
22		加茂名コミュニティセンター	52		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
23		ショッピングプラザタクト	53		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
24		神明神社防災倉庫	54		応神コミュニティセンター
25		若宮神社防災倉庫	55		応神コミュニティセンター
26		喜多機械産業株式会社	56		国府コミュニティセンター
27		加茂コミュニティセンター	57		南井上コミュニティセンター
28		千松小学校	58		南井上コミュニティセンター
29		城西中学校	59		北井上コミュニティセンター
30		八万中央コミュニティセンター	60		北井上コミュニティセンター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
61	鳴門市	鳴門市福祉事務所	101	阿南市	大野公民館
62		鳴門市福祉事務所	102		宝田公民館
63		鳴門市婦人会館	103		新野公民館
64		木津地区ふれあい公園防災倉庫	104		福井公民館
65		里浦公民館	105		那賀川公民館
66		里浦小学校	106		徳島県建設業協会阿南支所
67		鳴門西地区防災倉庫	107		中野島総合センター
68		北灘公民館	108		長生公民館
69		堀江公民館	109		富岡公民館
70		堀江公民館	110		阿南市勤労女性センター
71		鳴門東地区コミュニティセンター	111		桑野公民館
72		黒崎集会所	112		加茂谷公民館
73		黒崎集会所	113	吉野川市	鴨島公民館
74		矢倉集会所	114		上浦公民館
75		渦潮ふれあい館	115		西麻植会館
76		瀬戸公民館	116		牛島公民館
77		瀬戸公民館	117		川島公民館
78		島田小学校	118	阿波市	山川地域総合センター
79		北泊公民館	119		阿波市役所
80		明神北集会所	120		阿波市役所 阿波支所
81		日出集会所	121		阿波市役所 土成支所
82		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	122		阿波市役所 吉野支所
83		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	123	美馬市	大俣公民館
84		鳴門公民館	124		大俣公民館
85		川東公民館	125		美馬市福祉事務所
86		斎田集会所	126		三島会館
87		折野北条集会所	127		有限会社藤田計夫商店
88		板東南ふれあいセンター	128	三好市	美馬市消防本部
89	小松島市	小松島市役所	129		三好市役所
90		サウンドハウスホール	130		池田町中央公民館
91		徳島赤十字病院	131		三好市社会福祉協議会
92		徳島赤十字ひのみね医療療育センター	132		三好市社会福祉協議会 三野支所
93		みなと高等学園	133		三好市社会福祉協議会 山城支所
94		立江小学校	134		三好市社会福祉協議会 西祖谷支所
95		新開公民館	135		三好市社会福祉協議会 東祖谷支所
96		櫛渕公民館	136	勝浦町	勝浦町役場
97	阿南市	JA 東とくしま旧和田島支所倉庫	137		勝浦町農村環境改善センター
98		阿南市役所	138		勝浦町福祉センター
99		橘地区防災公園	139	上勝町	勝浦町民体育館
100		ショッピングプラザアピカ	140		旭基幹集落センター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
141	上勝町	上勝町社会福祉協議会	179	上板町	上板町社会福祉協議会
142		高鉾公民館	180		高志消防コミュニティセンター
143		福原ふれあいセンター	181		大山消防コミュニティセンター
144	佐那河内村	佐那河内村役場	182		松島消防コミュニティセンター
145		佐那河内村社会福祉協議会	183	那賀町	那賀町役場
146		佐那河内村社会福祉協議会	184		那賀町役場 木沢支所
147		佐那河内小・中学校	185		那賀町役場 木頭支所
148	石井町	石井中学校	186		那賀町平谷出張所
149		高浦中学校	187		平谷小学校
150		石井町社会福祉協議会	188		桜谷小学校
151		石井町地域防災交流センター	189		鷲敷中央公民館
152		平島水防倉庫	190	美波町	南部総合県民局 美波庁舎
153	神山町	神山町社会福祉協議会	191		美波町ストックヤード
154		神山町社会福祉協議会	192		美波町ストックヤード
155		下分公民館	193		美波病院
156	松茂町	松茂町役場	194	牟岐町	木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設
157		松茂町役場	195		牟岐町役場 高倉倉庫
158		松茂町津波防災センター	196		牟岐町役場 西山倉庫
159		松茂町社会福祉協議会	197		牟岐町役場 西山倉庫
160		喜来小学校	198		牟岐町役場 西山倉庫
161		徳島阿波おどり空港	199	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
162		松茂小学校	200		海陽町役場 海部庁舎
163	北島町	北島町社会福祉協議会	201		海陽町役場 海部庁舎
164		北島町社会福祉協議会	202		海陽町役場 海部庁舎
165		北島町社会福祉協議会	203		株式会社丸本（災害避難場所）
166		北島小学校	204		株式会社丸本（災害避難場所）
167	藍住町	藍住町社会福祉協議会	205	つるぎ町	つるぎ町役場
168		藍住町社会福祉協議会	206		つるぎ町役場
169		藍住東小学校	207		つるぎ町役場
170		藍住西小学校	208		つるぎ町役場 半田支所
171		藍住南小学校	209		つるぎ町役場 一字支所
172		藍住北小学校	210		つるぎ町役場 一字支所
173	板野町	板野町災害対策用備蓄倉庫	211	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
174		板野町社会福祉協議会	212		東みよし町社会福祉協議会
175		板野南小学校	213		東みよし町デイサービスさざんか荘
176		板野西小学校	214		東みよし町デイサービスさざんか荘
177		板野町南公会堂	215		東みよし町デイサービスさざんか荘
178		板野町民ふれあいプラザ	216		東みよし町デイサービスさざんか荘

(6) 赤十字災害時活動用テントの配備

地域における災害時の炊き出し支援活動や平時の防災訓練等において、簡単に設営が可能な折りたたみ式テントを地区・分區に83張配備している。

赤十字奉仕団や自主防災組織等が、地域の防災訓練等で活用することにより、地域の災害対応力の向上を図った。



災害時の活動拠点として活用するテントの組み立て訓練を行う地域赤十字奉仕団等

① 赤十字災害時活動用テント配備状況

(令和5年3月31日現在)

No.	地区	設置場所	No.	地区	設置場所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	32	阿南市	富岡公民館
2		新町コミュニティセンター	33		羽ノ浦公民館
3		西富田コミュニティセンター	34		大野公民館
4		東富田コミュニティセンター	35		長生公民館
5		昭和コミュニティセンター	36		見能林公民館
6		渭東コミュニティセンター	37		新野公民館
7		渭北コミュニティセンター	38	吉野川市	吉野川市役所
8		佐古コミュニティセンター	39		ふるさとセンター
9		沖洲コミュニティセンター	40		川島公民館
10		津田コミュニティセンター	41		山川地域総合センター倉庫
11		加茂名地区名東3丁目自主防災会防災倉庫	42	阿波市	阿波市大俣公民館
12		加茂コミュニティセンター	43		阿波市役所
13		八万中央コミュニティセンター	44		吉野地域福祉センターこすもす
14		勝占中部コミュニティセンター	45	美馬市	美馬市福祉事務所
15		多家良中央コミュニティセンター	46		美馬市福祉事務所
16		上八万小学校	47		美馬市社会福祉協議会
17		入田コミュニティセンター	48	三好市	三好市中央公民館
18		不動コミュニティセンター	49		三好市社会福祉協議会
19		川内町民会館	50	勝浦町	勝浦町民体育館
20		応神コミュニティセンター	51		勝浦町農村改善環境センター
21		徳島市立考古資料館敷地内防災倉庫	52	上勝町	上勝町旭基幹集落センター
22		南井上コミュニティセンター	53		上勝町高銓公民館
23		北井上コミュニティセンター	54	佐那河内村	佐那河内村 防災倉庫
24		鳴門市役所	55		佐那河内村災害備蓄倉庫
25	鳴門市	鳴門公民館	56	石井町	石井町社会福祉協議会
26		林崎防災倉庫	57		石井町社会福祉協議会
27		矢倉消防団詰所	58	神山町	神山町社会福祉協議会
28		堀江公民館	59		神山町社会福祉協議会
29	小松島市	サウンドハウスホール	60	松茂町	松茂町老人福祉センター
30		JA 東とくしま旧和田島支所倉庫	61		松茂町老人福祉センター
31		和田島緑地公園倉庫	62	北島町	北島町社会福祉協議会

No.	地区	設 置 場 所	No.	地区	設 置 場 所
63	北島町	北島町社会福祉協議会	74	牟岐町	牟岐町役場 西山倉庫
64	藍住町	藍住町福祉センター	75		牟岐町役場 西山倉庫
65		藍住町社会福祉協議会	76	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
66	板野町	板野町町民センター	77		海陽町役場 海部庁舎
67		板野町社会福祉協議会	78	つるぎ町	つるぎ町役場
68	上板町	上板町社会福祉協議会	79		つるぎ町役場
69		上板町社会福祉協議会	80	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
70	那賀町	那賀町役場 相生庁舎	81		東みよし町デイサービスさざんか荘
71		那賀町役場 相生庁舎	82	その他	日本赤十字社徳島県支部
72	美波町	日和佐公民館	83		日本赤十字社徳島県支部
73		美波町医療保健センター			

(7) 大規模災害時における要支援者支援体制の強化

これまでの東日本大震災や熊本地震等における救護活動の経験を踏まえ、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害時に、長期にわたる避難所生活において特に支援が必要な要配慮者や乳児を対象とした「赤十字要支援者用段ボールベッド」を新たに12地区・分区へ配備し、災害時における地域の要支援者支援体制の充実・強化を図った。これで、県内全市町村（地区・分区）への要支援者用段ボールベッドの配備が完了した。



要配慮者用



乳児用

① 災害時要支援者用段ボールベッドの整備数

(令和5年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設 置 場 所	配 備 数	
			要配慮者用	乳児用
1	—	日本赤十字社徳島県支部	50	50
2	徳島市地区	旧徳島市社会福祉センター分館	10	10
3	鳴門市地区	トリーデなると	10	10
4	小松島市地区	小松島市保健センター	10	10
5	阿南市地区	阿南市役所	10	10

No.	地区・分区名		設 置 場 所	配 備 数	
				要配慮者用	乳児用
6	吉野川市地区		川島こども園	10	10
7	阿 波 市 地 区		大俣公民館	10	10
8	美 馬 市 地 区		穴吹農村環境改善センター	10	10
9	三 好 市 地 区		三好市社会福祉協議会 本所	1	1
			三好市池田農村婦人の家	3	7
			三好市社会福祉協議会 西祖谷支所	3	1
			三好市社会福祉協議会 東祖谷支所	3	1
10	東 部 地 区	勝 浦 町	生名希望の広場 防災倉庫	5	5
11		上 勝 町	上勝町コミュニティセンター	5	5
12		佐那河内村	佐那河内村防災倉庫	5	3
13		石 井 町	石井町備蓄倉庫	5	5
14		神 山 町	神山町社会福祉協議会	5	5
15		松 茂 町	松茂町老人福祉センター松鶴苑	5	5
16		北 島 町	北島町社会福祉協議会	5	5
17		藍 住 町	藍住町総合文化ホール	5	5
18		板 野 町	板野町防災ステーション	5	5
19		上 板 町	上板町社会福祉協議会	5	5
20	南 部 地 区	那 賀 町	延野体育館	3	3
21		美 波 町	美波町防災備蓄倉庫	5	5
22		牟 岐 町	中村地域活性化センター	5	5
23		海 陽 町	海部公民館	3	5
24	西 部 地 区	つるぎ町	貞光中学校	5	5
25		東みよし町	旧三好学校給食センター	5	5
合 計				206	206

※ゴシック体は、令和4年度に配備した市町村（地区・分区）

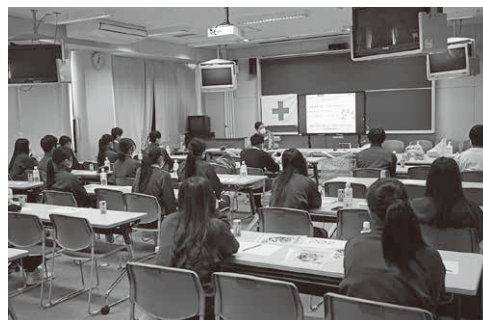
② 赤十字要支援者用段ボールベッド設営訓練実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
新町婦人会	25	山瀬婦人会	35
一宮婦人会	39	石井町老人クラブ連合会	35
昭和婦人会	10	那賀川婦人会	21
東富田婦人会	18	那賀町婦人会	20
沖洲婦人会	22	吉野川市婦人団体連合会	20
勝浦町婦人会	42	計11回	287

(8) 地域における防災・減災事業の推進

過去の災害の教訓や当支部の救護活動の経験を通して、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害から、いのちを守り被害を最小限に抑えるために、災害や防災についての考え方、平時の備えについて啓発を図る「防災セミナー」を学校や地域において実施した。



高校生を対象とした「防災セミナー」

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染症に配慮した避難所運営に必要な知識・技術の普及を行った。

さらに、高校生を対象に「自助」の大切さを学ぶ一環として、災害に備えて家の中の安全対策について考え、共有する機会を設けた。

なお、実施状況は、次のとおりである。

① 講習実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
渭東婦人会	51	昭和婦人会	47
海陽町婦人会	45	川内婦人会	20
東みよし町社会福祉協議会	36	佐那河内中学校	16
三好市社会福祉協議会三野支所	49	とくしまあいランド推進協議会	26
とくしまあいランド推進協議会	8	山瀬婦人会	35
とくしまあいランド推進協議会	20	鳴門高等学校	44
環境首都とくしま創造センター	20	計 13 回	417

(9) 臨時救護の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が制限される中で、屋外行事やスポーツ競技のサポートを中心に行った。

回数	派遣人数
14回	28人

(10) 赤十字小規模災害見舞金等交付状況

県内で発生した災害により死亡または行方不明、もしくは住家が全焼（壊）・半焼（壊）・流失・床上浸水の被害をうけた住民に対し、次の基準により見舞金品を交付した。

① 交付基準

被害別	区分	見舞金 (弔慰金)	毛 布	緊急セット
死 亡 行 方 不 明		30,000円		
全 焼 全 壊 流 失		20,000円	1 人に 1 枚	1 世帯に 1 個 (3 人まで) 1 世帯に 2 個 (4 人以上)
半焼・半壊		10,000円		1 世帯に 1 個
床 上 浸 水				

(注) 小規模災害に対する赤十字見舞金品交付要領に基づく。(災害救助法が適用される場合及び自己放火の火災については除く。)

② 市町村別交付状況

区 分		死 亡 行 方 不 明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
市 地 区	徳 島 市 地 区	0	5	5	0	150,000	21	10
	鳴 門 市 地 区	0	1	0	0	20,000	0	1
	小松島市地区	0	1	0	0	20,000	1	1
	阿 南 市 地 区	1	0	0	0	30,000	0	0
	吉野川市地区	0	0	1	0	10,000	0	0
	阿 波 市 地 区	0	0	0	0	0	0	0
	美 馬 市 地 区	1	0	0	0	60,000	0	0
	三 好 市 地 区	1	0	0	0	20,000	3	1
	市 地 区 計	3	7	6	0	310,000	25	13
東 部 地 区	勝 浦 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	上 勝 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	佐那河内村分区	0	0	0	0	0	0	0
	石 井 町 分 区	0	1	0	0	20,000	0	0
	神 山 町 分 区	0	1	0	0	20,000	2	1
	松 茂 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	北 島 町 分 区	0	1	0	0	20,000	0	0
	藍 住 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	板 野 町 分 区	0	0	2	0	20,000	4	2
	上 板 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	3	2	0	80,000	6	3

区 分		死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
南部地区	那 賀 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	美 波 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	牟 岐 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	海 陽 町 分 区	1	3	1	0	120,000	6	5
	計	1	3	1	0	120,000	6	5
西部地区	つ る ぎ 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	東みよし町分区	0	2	0	0	20,000	1	1
	計	0	2	0	0	20,000	1	1
町 村 分 区 計		1	8	3	0	220,000	13	9
合 計		4	15	9	0	530,000	38	22

(11) 国内の災害義援金の受付状況

(令和5年3月31日現在)

区 分	件 数 (件)	受 付 額 (円)
平成30年7月豪雨災害義援金	3	5,134
令和2年7月豪雨災害義援金	1	6,785
令和4年3月福島県沖地震義援金	2	21,917
令和4年7月大雨災害義援金	2	15,000
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	8	111,014
令和4年台風第15号災害義援金	1	10,000
計	17	169,850

3 赤十字の救急法等の普及活動

「いのちと健康」を守る赤十字の基本理念である「人道」を、具体的な知識や技術として普及し、県民が健康で安全な日常生活を送るとともに、いざ不測の事態が起こった際には、迅速に手当を実践することで、尊い「いのち」が救われるよう、感染防止対策を徹底したうえで工夫を凝らした赤十字講習を県内各地で開催した。

(1) 救 急 法

感染症の拡大や、学域における夏休み前などの重複する講習ニーズ等に柔軟に対応するために、ICTを活用した「オンライン講習」を新たに導入した。



オンラインによる心肺蘇生実技訓練

受講者からは「人との接触を心配せず、安心して受講することができた」などの好意的な意見が寄せられ、感染症蔓延下においても、多くの人々に効果的に一次救命処置の知識と技術の普及を図った。

① 講習実施状況

ア. 基礎講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	6	6
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	12	12
徳島県警察学校 学生対象①	19	19
徳島県警察学校 学生対象②	23	23
日本スイミングクラブ協会四国支部	16	16
徳島文理大学 学生対象	35	35
徳島市立高校 一般対象	14	14
計 7 回	125	125

イ. 救急員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象	8	8
徳島県警察学校 学生対象①	19	19
徳島県警察学校 学生対象②	23	23
徳島文理大学 学生対象	36	36
徳島市立高校 一般対象	13	13
計5回	99	99

ウ. 短期講習（集合型）

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
森 の 学 校 み つ け	15	長 生 小 学 校	20
徳 島 県 立 視 覚 支 援 学 校	42	藍 住 中 学 校	32
鳴門教育大学附属支援学校	27	徳島県経営戦略部職員厚生課	17
徳 島 文 理 大 学	20	とくしまあいランド推進協議会	18
徳 島 文 理 大 学 薬 学 部	68	藍 住 東 中 学 校	13
南 井 上 小 学 校	22	徳 島 県 歯 科 医 師 会	26
徳 島 市 立 高 校	43	応 神 婦 人 会	41
藍 住 南 小 学 校	29	とくしまあいランド推進協議会	12
入 田 婦 人 会	26	森 六 ケ ミ カ ル ズ	11

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
藤 田 計 夫 商 店	48	沖 洲 小 学 校	40
平 谷 小 学 校	14	美 馬 市 婦 人 会	18
三 縄 小 学 校	30	徳 島 県 ス マ ー ト 林 業 課	13
王 地 小 学 校	39	徳 島 県 経 営 者 協 会	14
上 勝 中 学 校	26	とくしまあいランド推進協議会	17
児 安 小 学 校	55	春日野ご近所デイサービス	32
上 勝 小 学 校	41	富 田 小 学 校	19
大 野 小 学 校	15	三好市社会福祉協議会井川支所	97
小 松 島 小 学 校	39	徳島県教育委員会体育健康安全課	5
立 江 小 学 校	16	那 賀 町 役 場 木 沢 支 所	13
平 島 小 学 校	32	内町コミュニティセンター	13
芝 田 小 学 校	35	徳島東部林業労働安全衛生推進協議会	31
北 小 松 島 小 学 校	66	四 国 旅 客 鉄 道	36
市 場 中 学 校	63	徳 島 大 学	20
板 野 東 小 学 校	86	とくしまあいランド推進協議会	14
鳴 門 高 等 学 校	50	徳島大学人と地域共創センター	14
山 口 小 学 校	28	松 茂 小 学 校	24
三好市社会福祉協議会西祖谷支所	31	三好市社会福祉協議会池田支所	50
阿 波 中 学 校	102	富 岡 婦 人 会	8
吉 野 中 学 校	128	徳 島 文 理 大 学 学 生 支 援 課	23
城 東 高 等 学 校	40	生命保険協会徳島県協会	14
土 成 中 学 校	50	内 町 小 学 校	12
海 陽 町 婦 人 会	61	松 茂 中 学 校	110
城南高等学校	66	那 賀 川 婦 人 会	21
徳島ファミリーサポート・センター	14	あいずみスポーツクラブ	25
小 松 島 西 高 等 学 校	26	鳴 門 西 自 治 振 興 会	200
徳 島 市 立 高 等 学 校	320	那 賀 町 婦 人 会	20
入 田 学 童 保 育 ク ラ ブ	6	渭東コミュニティセンター	57
北 灘 地 区 自 主 防 災 会	50	計75回	3,019

エ. 短期講習（オンライン講習）

(人)

開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数	開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
5月19日	学 島 小 学 校	11	6月23日	一 宮 小 学 校	11
	黒 崎 小 学 校	18		助 任 小 学 校	46
5月24日	木 頭 小・中 学 校	16		徳島県立ひのみね支援学校	53
5月26日	吉 野 川 高 等 高 校	31		岩 脇 小 学 校	20

開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数	開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
5月26日	昼 間 小 学 校	15	7月7日	応 神 小 学 校	16
6月9日	八 幡 小 学 校	12		林 小 学 校	15
	新 野 東 小 学 校	8		市 立 川 島 中 学 校	17
	羽 ノ 浦 小 学 校	36	7月14日	高 川 原 小 学 校	22
	牛 島 小 学 校	17	計 7 回 (参加18校)		378
	橘 小 学 校	14			

② 救急法指導員数

職 員	4 4 名	計 9 6 名
ボランティア指導員	5 2 名	

③ 赤十字 AED の設置状況

(令和5年3月31日現在)

No.	市町村	設 置 施 設 名	No.	市町村	設 置 施 設 名
1	徳島市	日本赤十字社徳島県支部事務局	28	阿南市	長 生 隣 保 館
2		徳 島 市 役 所	29		福 井 総 合 セ ン タ ー
3		阿 波 お ど り 会 館	30		伊 島 診 療 所
4		内町コミュニティセンター	31		阿 南 ひ ま わ り 会 館
5		西富田コミュニティセンター	32		加 茂 谷 総 合 セ ン タ ー
6		東富田コミュニティセンター	33		本 庄 公 会 堂
7		昭和コミュニティセンター	34		南部総合県民局阿南庁舎
8		渭東コミュニティセンター	35		南部総合県民局阿南保健所庁舎
9		渭北コミュニティセンター	36	吉野川市	吉 野 川 市 市 役 所
10		佐古コミュニティセンター	37		吉 野 川 市 市 役 所
11		沖洲コミュニティセンター	38	美馬市	美馬市地域交流センターミライズ
12		加茂コミュニティセンター	39		美馬市社会福祉協議会
13		八万中央コミュニティセンター	40		西部総合県民局美馬庁舎
14		勝占中部コミュニティセンター	41	阿波市	阿 波 市 役 所
15		勝占東部コミュニティセンター	42		阿 波 市 役 所 阿 波 支 所
16		方 上 公 民 館	43		阿波市交流防災拠点施設「アエルワ」
17		多家良中央コミュニティセンター	44		吉 野 保 健 セ ン タ ー
18		応神コミュニティセンター	45		土 成 保 健 セ ン タ ー
19		南井上コミュニティセンター	46		阿 波 市 土 成 支 所
20		東 部 保 健 福 祉 局	47	三好市	三 好 市 総 合 体 育 館
21	鳴門市	鳴 門 市 役 所	48		山 城 公 民 館
22		鳴門市健康福祉交流センター	49		井川町ふるさと交流センター
23	小松島市	小 松 島 市 役 所	50		三 好 市 西 祖 谷 総 合 支 所
24	阿南市	阿 南 市 役 所	51		三好市三野老人福祉センター
25		つ ば き 会 館	52		西部総合県民局三好庁舎
26		阿 南 市 文 化 会 館	53	勝浦町	勝 浦 町 役 場
27		阿南市情報文化センター	54	上勝町	上 勝 町 役 場

No.	市町村	設置施設名	No.	市町村	設置施設名
55	佐那河内村	佐那河内村社会福祉協議会	66	美波町	南部総合県民局美波庁舎
56	石井町	石井町中央公民館	67	牟岐町	牟岐町役場
57		石井町社会福祉協議会	68	海陽町	海陽町デイサービスセンターさつき荘
58	松茂町	松茂町役場	69		海陽町役場海部庁舎
59	藍住町	藍住町役場	70		海陽町役場穴喰庁舎
60		藍住町保健センター	71	つるぎ町	つるぎ町役場一字支所
61	板野町	板野町民センター	72		つるぎ町就業改善センター
62	上板町	上板町老人福祉センター	73	東みよし町	東みよし町役場
63	那賀町	南部総合県民局那賀庁舎	74		東みよし町老人福祉センター
64	美波町	美波町役場	75		東みよし町役場三好庁舎
65		道の駅ひわさ			

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための泳ぎの基本や自己保全、事故防止、また万一、事故が発生した際の救助方法等の普及を図るのが水上安全法講習である。

本年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延下において、プールでの救助方法などの実技は密接・密集となり、受講者及び指導員の安全確保が困難なため、短期講習並びに救助員養成講習は中止となった。

① 水上安全法指導員数

職 員	1 名	計 22 名
ボランティア指導員	21 名	

(3) 健康生活支援講習

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、家庭での自立に向けた介護の方法や地域での高齢者支援に役立つ知識・技術の普及を図った。

また、災害時における高齢者の支援方法を中心とした防災講話や座ってできる健康体操、手洗い講習等、実技を交えた健康生活支援講習を実施した。



ブラックライトで洗い残しをチェックする手洗い講習

① 講習実施状況

ア. 支援員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 職員対象	7	7
計 1 回	7	7

イ. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
入 田 学 童 保 育 ク ラ ブ	12	小 松 島 市 市 民 生 活 課	17
		計 2 回	29

② 健康生活支援講習指導員数

職 員	2 4 名	計 3 5 名
ボ ラ ン テ ィ ア 指 導 員	1 1 名	

(4) 幼児安全法

乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術の普及を図るのが幼児安全法講習である。

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減できるペットボトルを用いて、乳幼児の



幼児の気道異物除去を学ぶ受講者

胸骨圧迫の実技講習を保育所や幼稚園を中心に行うとともに、コロナ禍でも受講者の要望に柔軟にお応えするために、オンライン形式での感染対策の講義を行うなど、工夫を凝らした幼児安全法の普及に努めた。

① 講習実施状況

ア. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
鳴 門 教 育 大 学 附 属 幼 稚 園	10	阿南市幼稚園・こども園教育研究協議会	15
社会福祉法人仁栄会ねむのき	19	徳島ファミリーサポート・センター	16
こども家庭支援センターひかり	8	沖浜シーズ認定こども園	7
高 原 保 育 所	26	徳 島 県 保 育 事 業 連 合 会	150
高 川 原 保 育 所	16	徳島県教育委員会学校教育課	19
泰 地 保 育 所	18	幼保連携型こども園 IZUMI	16
みのり認定こども園	29	こども家庭支援センターひかり	2
もとしろ認定こども園	9	ぽ か ぽ か 保 育 園	5
浦 庄 保 育 所	19	田宮シーズ認定こども園	7
		計18回	391

② 幼児安全法指導員数

職 員	30名	計 58名
ボランティア指導員	28名	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町村ごとに組織され、地域に根ざした活動を行う「地域赤十字奉仕団」と社会人や学生により組織されている「青年赤十字奉仕団」、また特定の資格や技能、知識等を活かした活動を行う「特殊赤十字奉仕団」で組織されている。

感染症蔓延下においても、地域や社会のニーズに対応した奉仕団活動を展開し、活動の見える化を図るとともに、若い世代への活動参画を促進し、奉仕団活動の充実・強化を図った。

種別		区分	団 数 (団)	団 員 数 (人)		
				男	女	計
地 域 赤 十 字 奉 仕 団			23	1,420	25,963	27,383
羣 衆 赤 十 字 奉 仕 団	青 年 赤 十 字 奉 仕 団		1	20	12	32
	学 生 赤 十 字 奉 仕 団		2	24	30	54
	計		3	44	42	86
特 殊 赤 十 字 奉 仕 団	赤十字救護救援奉仕団		1	36	19	55
	赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団		1	28	68	96
	赤十字水上安全法奉仕団		1	19	3	22
	青少年赤十字賛助奉仕団		1	24	7	31
	赤 十 字 看 護 奉 仕 団		1	2	80	82
	赤十字アマチュア無線奉仕団		1	63	5	68
	赤 十 字 船 舶 奉 仕 団		1	33	1	34
	赤 十 字 バ イ ク 奉 仕 団		1	70	5	75
計			8	275	188	463
合 計			34	1,739	26,193	27,932

(1) 地域赤十字奉仕団

各市町村の地域赤十字奉仕団活動の充実・強化を図るために、「モデル奉仕団の指定」等を行い、感染防止対策を徹底しながら、地域に根ざした奉仕活動を行うとともに、美化活動等を通して心豊かな地域づくりや地域福祉に貢献した。

また、奉仕団組織の強化を図るために、奉仕団活動の紹介と団員募集のチラシ等を作成し、各地域で積極的な広報活動を行い、奉仕団員の増強と活動の活性化に努めた。

① 主な奉仕活動

- ア 社員増強に関する活動
- イ 災害救護に関する活動
- ウ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動
- エ 献血推進に関する活動
- オ 赤十字の講習等の普及活動
- カ 赤十字病院や施設における奉仕活動
- キ 老人や障がい者の援助活動
- ク 地域の環境美化活動
- ケ 子育て支援活動



奉仕団ごとに作成した
オリジナルの募集チラシ

② 会 議

開催年月日	名 称	備 考
令和4年 5月30日～5月31日	赤十字奉仕団中央委員会	本社

③ 研 修 会

開催年月日	名 称	備 考
令和4年 12月1日～12月2日	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	香 川 県
令和5年2月14日	地域赤十字奉仕団研修会	徳 島 市

④ モデル奉仕団の指定

奉仕団活動の充実と活性化を図るため、令和2年度にモデル奉仕団として指定していた2年目5団は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたため、令和4年度においても引き続き指定し、感染症に配慮しながら地域に根ざした様々な活動を行った。

ア 令和2年度～令和4年度指定（2年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団沖洲分団
小 松 島 市	小松島市地区赤十字奉仕団櫛渕分団
阿 波 市	阿波市地区赤十字奉仕団
美 馬 市	美馬市地区赤十字奉仕団
南 部	南部地区那賀町赤十字奉仕団

イ 令和4年度～令和5年度指定（1年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団一宮分団
鳴 門 市	鳴門市地区赤十字奉仕団木津分団
阿 南 市	阿南市地区赤十字奉仕団那賀川分団
東 部	東部地区藍住町赤十字奉仕団
西 部	西部地区東みよし町赤十字奉仕団



段ボールベッド組立訓練



美化活動



献血推進



防災訓練



防災頭巾とマスクの作製

⑤ 未来を担う青少年等への「人道のこころ」の普及

第一次世界大戦時に板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を描いた赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」を活用した人道学習を、青少年赤十字を中心に実施し、未来を担う青少年の心の醸成と「人道のこころ」の普及を図った。

なお、紙芝居の上演状況は次のとおりである。



ドイツ館を訪れた青少年赤十字メンバーに紙芝居を披露する地域赤十字奉仕団

実 施 内 容	実施回数(回)	参加者数(名)
小学校や地域等での上演活動	2	101
鳴門市内の小学校に対する人道学習支援活動	2	25
県外の赤十字関係団体に対する上演活動	1	12
合 計	5	138

(2) 青年赤十字奉仕団

若い力を集結して各種奉仕活動を展開するために、当支部や中国四国ブロック主催の協議会・研修会を可能な形で開催するとともに、感染防止対策を徹底しながら、献血キャンペーンや学内献血等を実施した。



大学で献血を呼びかける学生奉仕団

① 会議及び研修会等

開催年月日	行 事 名	場 所 等
令和4年5月14日	徳島県青年赤十字奉仕団総会及び研修会	支部事務局
5月21日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	WEB開催
5月28日	第1回全国学生献血推進実行委員会	WEB開催
6月4日～5日	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	香川県
7月23日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	WEB開催
8月23日	全国学生献血推進代表者会議	〃
9月20日	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	岡山県
10月16日	中国四国学生献血推進協議会研修会	WEB開催
令和5年2月26日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	〃
3月18日	全国学生献血推進実行委員会	〃

② 主要奉仕活動

開催年月日	行事名	備考
令和4年4月17日	春の献血キャンペーン	ゆめタウン徳島
7月17日	中国四国学生統一献血キャンペーン	ゆめタウン徳島
7月24日		
8月12日		
10月1日	徳島ヴォルティス献血キャンペーン	ポカリスエット スタジアム
12月18日	全国学生クリスマス 献血キャンペーン2022	ゆめタウン徳島
通年	学内献血	四国大学、徳島大学 常三島キャンパス

(3) 特殊赤十字奉仕団

新型コロナウイルス感染症の影響により活動は制限されたが、看護師等の有資格者によって組織される看護奉仕団が赤十字施設への感染拡大に伴う業務支援を行うなど、専門的な技術と能力を活かした活動を展開した。

① 会議及び研修等

開催年月日	行事名	備考
令和4年4月9日	アマチュア無線奉仕団総会及び研修会	シビックセンター
4月23日	救急法奉仕団総会及び研修会	中央テクノスクール
5月17日	青少年赤十字賛助奉仕団総会	支部事務局
6月10日	水上安全法奉仕団総会及び研修会	書面開催
6月21日	看護奉仕団総会及び研修会	支部事務局

② 新型コロナウイルス感染拡大に伴う看護奉仕団による赤十字施設への業務支援

派遣日	令和4年8月20日～25日、8月27日の7日間
派遣場所	徳島赤十字乳児院
派遣者数	7名
業務内容	新型コロナウイルス陰性の乳幼児支援（授乳等）

5 青少年赤十字

青少年赤十字（JRC）は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にし、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。

青少年赤十字は1922年に創設され、2022年5月に100周年を迎えたことから、記念事業として「思いやり」や「やさしさ」に関する作品コンクールを実施し、青少年赤十字活動の理解促進と活性化を図った。



赤十字フラッグキャンペーンで、青少年赤十字創設100周年をPR

(1) 「青少年赤十字創設100周年記念作品コンクール」の実施

青少年赤十字創設100周年記念事業の一環として、「優しさ」や「思いやり」をテーマにしたピクトグラム制作を通して、他者を思いやり、支え合うことの大切さ、命の大切さなどの「人道」について考えることを目的として、「みんなで作ろう！優しさの作品コンクール」を実施した。

小学生から高校生までの児童・生徒から、1,269作品の応募があり、入賞作品18点を選定した。

① 応募数及び入賞者数

部 門	応募校数	応募作品数	入賞者数
小学校 低学年の部（1～3年生）	22	33	4
小学校 高学年の部（4～6年生）	23	199	5
中学校の部	19	802	5
高等学校の部	8	235	4
合 計	72	1,269	18

② 最優秀賞作品

【小学校 低学年の部】	【小学校 高学年の部】
住友 正宗（加茂名小学校 2年）	柴田 あやめ（中野島小学校 6年）
「みんなの命を守ろう」のピクトグラム	「だいじょうぶ？」のピクトグラム
	
【作者のコメント】 ぼくのいえには、赤ちゃんがいます。ニュースで、赤ちゃんがぎゃくたいされて、しんでしまったことをしました。 ぼくは、赤ちゃんはかわいいのに、なんでだろうとおもいました。赤ちゃんや、みんなのいのちをたいせつにしないといけないと思ってかきました。	【作者のコメント】 私が、この作品を考えたきっかけは、いじめです。いじめは簡単に人を傷つける行動です。だから、いじめをなくしたいという思いからこの作品を考えました。 いじめだけでなく、事故や災害で1人ぼっちになった人たちに、1人じゃないよということを伝えたいという思いもこの作品に込めました。この作品の思いがこれを見た人に伝わるといいです。

【中学校の部】	【高等学校の部】
池光 一輝（鴨島第一中学校 1年）	貝島 光美（城南高等学校 1年）
「みんなの思いやり」のピクトグラム	「思いやりの傘」のピクトグラム
	
【作者のコメント】 この作品は、お年寄りや、車いすの人や、にんぶさんなど、いろいろな人にも、平等に大切にということで、このピクトグラムを作りました。 お年寄り、車いすの人、にんぶさんなどのたくさんの人々をつつみこんでいる大きなハートは、みんなの思いやりの心をイメージしました。みんな幸せになってほしいです。	【作者のコメント】 「思いやり」と聞いて頭に浮かんだのは母の学校のことでした。小学生だった私は「晴れているのにどうして傘をさすのか」不思議でした。 なぜか尋ねてみると、生徒たちを雨風太陽から守るそうです。傘をさす人と車椅子の人が目を合わせて心を通わせている様子です。 二人のあたたかい気持ちや信頼関係を表す為にピンクのハートを描きました。

(2) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字の更なる普及を図るため、青少年赤十字未加盟校への加盟を促進し、国公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校については、加盟率100%を達成した。

① 徳島県の加盟校数、加盟メンバー数

校種別	加盟校数(校)		加盟メンバー数(名)					
	令和4年度	令和3年度	男		女		計	
			令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
幼稚園	23	24	676	728	631	727	1,307	1,455
小学校	166	166	15,936	16,477	14,901	15,629	30,837	32,106
中学校	84	84	8,607	8,477	8,365	8,125	16,972	16,602
高等学校	35	35	1,284	1,883	1,229	1,752	2,513	3,635
特別支援学校	12	12	347	576	150	269	497	845
計	320	321	26,850	28,141	25,276	26,502	52,126	54,643

② 令和4年度青少年赤十字加盟校一覧表



令和4年度新規加盟校

令和5年3月31日現在

区分 郡市	幼稚園	小学校	中学校
徳島市	鳴教大附属・八万・上八万・助任・千松・沖浜シーズ・国府・沖州・入田・福島・みのり認定こども園	内町・新町・佐古・富田・福島・城東・助任・津田・昭和・沖州・加茂名・加茂名南・八万・八万南・千松・大松・論田・方上・宮井・渋野・不動・上八万・一宮・入田・川内北・川内南・応神・国府・南井上・北井上・鳴教大附属・ 徳島文理	徳島・城西・富田・城東・津田・加茂名・八万・南部・不動・上八万・入田・川内・応神・国府・北井上・鳴教大附属・徳島文理・城ノ内・ しらさぎ
鳴門市		撫養・林崎・桑島・鳴門市第一・里浦・鳴門東・鳴門西・明神・大津西・堀江北・堀江南・板東・黒崎	鳴門市第一・鳴門市第二・鳴門・瀬戸・大麻・大麻広塚分校
小松島市		小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田・立江・櫛渕・坂野・和田島・新開	小松島・小松島南
阿南市	大野・富岡・加茂谷・横見・見能林	中野島・横見・富岡・宝田・大野・長生・見能林・津乃峰・桑野・山口・吉井・橘・福井・椿・新野・新野東・今津・平島・羽ノ浦・岩脇・椿泊	阿南・阿南第一・阿南第二・加茂谷・福井・椿町・那賀川・羽ノ浦・富岡東・新野
吉野川市		上浦・牛島・森山・飯尾敷地・知恵島・川島・学島・山瀬・鴨島・高越・西麻植	鴨島東・鴨島第一・川島・県立川島・山川
阿波市		御所・土成・久勝・伊沢・林・一条・市場・八幡・大俣・柿原	吉野・土成・市場・阿波

区分 郡市	幼稚園	小学校	中学校
美馬市	木屋平	江原南・江原北・脇町・岩倉・美馬・三島・穴吹・木屋平	江原・脇町・美馬・三島・穴吹・木屋平・岩倉
三好市		王地・芝生・箸蔵・池田・白地・馬路・三縄・山城・下名・辻・西井川・櫟生・東祖谷	三野・池田・山城・井川・東祖谷・西祖谷
勝浦郡		生比奈・横瀬・上勝	勝浦・上勝
名東郡		佐那河内	佐那河内
名西郡		石井・浦庄・藍畑・広野・神領・高川原・ <u>高原</u>	石井・高浦・神山
那賀郡		鷺敷・相生・木頭・平谷	鷺敷・相生・木頭
海部郡		牟岐・日和佐・伊座利・海部・由岐・海南・穴喰	牟岐・日和佐・由岐・海陽・穴喰・由岐伊座利分校
板野郡	北島・神宅・高志・板野東・板野西・板野南	長原・松茂・喜来・北島北・北島・北島南・藍住北・藍住南・藍住西・藍住東・板野東・板野東大坂分校・板野西・板野南・神宅・東光・松島・高志	松茂・北島・藍住東・藍住・板野・上板
美馬郡		半田・太田・貞光	半田・貞光
三好郡		足代・昼間・加茂・三庄	三加茂・三好

幼稚園23園

小学校計166校（新規2校）

中学校84校（新規1校）

高等学校	城東・城南・城北・城ノ内・徳島北・徳島市立・城西・城西神山分校・科学技術・徳島商業・徳島文理・徳島中央・小松島・小松島西・小松島西勝浦校・富岡東・富岡東羽ノ浦校・富岡西・阿南光・那賀・海部・鳴門・鳴門渦潮・板野・名西・川島・阿波・阿波西・穴吹・脇町・つるぎ・池田・池田三好校・池田辻校・吉野川	35校
特別支援校	聴覚支援・視覚支援・国府支援・池田支援・池田支援美馬分校・鴨島支援・ひのみね・阿南支援・鳴教大附属特別支援・板野支援・みなと・阿南支援学校ひわさ分校	12校

合計 320校

(3) 会議及び研修会

① 本社主催

開催年月日	行事名	場所等
令和4年6月29日	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	WEB開催
令和5年3月21日 25日	青少年赤十字スタディー・プログラム	3/21 WEB形式 3/25 本社参集

② 中・四国ブロック主催

開催年月日	行事名	場所
令和4年11月10日 ～11日	第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに青少年赤十字事務担当者会議	島根県

③ 支部及び指導者協議会主催

開催年月日	行 事 名	場 所
令和4年5月17日	青少年赤十字指導者協議会総会	支部事務局
6月30日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合せ（中学校の部）	支部事務局
7月6日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合せ（高等学校の部）	支部事務局
8月2日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合せ（小学校の部）	板野東小学校
令和5年3月20日	青少年赤十字徳島県指導者協議会役員会	支部事務局

④ 高等学校 JRC 協議会主催行事

開催年月日	行 事 名	場 所 等
令和4年6月18日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会学習会	W E B 開催
令和5年1月21日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会冬季学習会	鳴門市ドイツ館 ドイツ村公園



オンライン形式での学習会の様子



赤十字ゆかりの地を活用した人道学習

⑤ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術を学ぶことにより、自主・自立の精神を身につけたリーダーを養成することを目的として実施した。

新型コロナウイルス感染拡大のため、小学校及び中学校は中止となったが、高等学校の部は日程を1日に短縮して「オンライン形式」で実施した。

ア 月日・参加状況

校 種	月 日	参加校数 (校)	参加メンバー (名)	指導者 (名)	特別参加指導者 (名)
高 等 学 校	令和4年8月22日	5	11	3	4

(4) 「青少年赤十字防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるほうさい」を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、防災教育を通して「いのちの大切さ」や「思いやる心」を育てるとともに、自分の命や周りの命を守る知識や技術の普及を図った。



「まもるいのち ひろめるほうさい」
を活用した防災教育

(5) 書き損じはがき収集活動実施状況

第28回 受付分	受 付 枚 数	1,301 枚
	換 金 額	70,445 円
	協 力 校	助任幼稚園・学島小学校・藍畑小学校・江原北小学校・江原中学校・相生中学校・富岡東高等学校・ひのみね支援学校・鴨島支援学校・鳴門教育大学附属特別支援学校

※ 参考 第1回から第28回までの累計

受付枚数 50,822枚 換 金 額 2,317,074円

(6) 青少年赤十字活動資金（1円玉募金）

受 付 件 数	15 件
募 金 額	7,124 円
協 力 校	津田小学校・加茂名小学校・応神小学校・神宅小学校・徳島中学校・城西中学校・鳴門教育大学附属中学校・高浦中学校・土成中学校・徳島商業高等学校・徳島科学技術高等学校・城西高等学校・徳島聴覚支援学校・鴨島支援学校・鳴門教育大学附属特別支援学校

※ エコキャップ等換金分を含む

(7) 中古本等買い取りプログラム「キモチと」

換 金 物 品 数	333 点
換 金 額	11,511 円
協 力 校	富岡西高等学校、鳴門教育大学附属特別支援学校

(8) 青少年赤十字優良児童・生徒表彰状況

校 種 別	学 校 数 (校)	メ ン バ ー 数 (名)
小 学 校	5	9
中 学 校	3	5
高 等 学 校	16	23
計	24	37

6 国際活動

世界各地で多発する紛争や自然災害等による犠牲者・被災者等を支援するために、日本赤十字社本社や中国・四国各県支部等と連携した国際活動を展開し、国境や民族、宗教を越えた人道的活動を推進した。

(1) ウクライナ人道危機救援金等の募集

ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために、海外救援金を募集した。

また、令和5年2月6日に発生したトルコ・シリア地震に対しても救援金を募集し、被災者支援を行った。

なお、救援金の受付状況は、次のとおりである。

① 海外救援金の受付状況

区 分	件 数 (件)	受付額 (円)
ウ ク ラ イ ナ 人 道 危 機 救 援 金	133	9,563,952
2022年アフガニスタン地震救援金	1	50,000
2023年トルコ・シリア地震救援金	179	5,901,084
計	313	15,515,036



徳島駅前でウクライナ人道危機救援金の募金を呼びかける赤十字奉仕団員

(2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

アジア・大洋州地域においては、洪水やサイクロン災害による被害が多く、災害時の給水・衛生活動のニーズが継続している状況にある。

日本赤十字社中国・四国各県支部では本社と連携して、浄水器やタンク、水質検査キット、簡易トイレ用資材等をセットにした「給水・衛生キット」をア

ジア・大洋州地域に配備し、取り扱いに関する要員研修等を支援した。

令和４年に発生したバングラデシュやラオスでの豪雨災害では、訓練を受けたスタッフ等により給水ユニットが迅速に配備され、被害の大きかった地域を中心に安全な飲料水の配給が行われた。



洪水災害対応で給水キットを展開するラオス赤十字のボランティア

(3) 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する自然災害や地域紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために、12月１日から25日までの間、NHK との共催により海外たすけあい募金キャンペーンを実施した。

令和４年度「NHK海外たすけあい」の実績表

区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)	区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)
本 社	13,000	216,819,627	153,136,610	141.6	滋 賀 県	1,369	5,568,322	4,848,771	114.8
北 海 道	2,757	18,453,076	17,119,248	107.8	京 都 府	1,391	11,826,438	13,317,073	88.8
青 森 県	349	3,552,870	2,910,420	122.1	大 阪 府	3,197	30,432,623	30,603,287	99.4
岩 手 県	1,055	5,774,485	10,184,004	56.7	兵 庫 県	2,963	24,768,231	24,185,053	102.4
宮 城 県	1,056	10,108,423	9,115,340	110.9	奈 良 県	681	7,625,448	8,185,509	93.2
秋 田 県	405	3,888,894	3,347,113	116.2	和歌山県	1,448	6,823,674	7,534,326	90.6
山 形 県	433	3,667,160	3,697,565	99.2	鳥 取 県	223	2,433,641	2,499,048	97.4
福 島 県	822	10,510,324	9,883,923	106.3	島 根 県	1,425	3,294,876	3,197,943	103.0
茨 城 県	1,318	9,926,000	9,076,649	109.4	岡 山 県	652	9,019,185	9,083,011	99.3
栃 木 県	3,032	7,820,849	6,273,616	124.7	広 島 県	2,386	18,856,583	19,652,948	95.9
群 馬 県	892	6,711,596	6,649,049	100.9	山 口 県	1,577	10,288,792	8,828,844	116.5
埼 玉 県	2,157	22,872,531	22,411,252	102.1	徳 島 県	342	4,702,542	3,802,707	123.7
千 葉 県	2,805	21,901,881	22,194,513	98.7	香 川 県	726	4,998,258	4,515,374	110.7
東 京 都	4,176	58,347,679	63,157,351	92.4	愛 媛 県	1,256	8,022,674	5,665,142	141.6
神奈川県	3,652	38,840,301	38,362,857	101.2	高 知 県	795	4,264,939	2,885,261	147.8
新潟県	1,659	9,117,881	10,483,469	87.0	福 岡 県	3,050	19,664,568	18,942,763	103.8
富 山 県	1,032	10,605,844	13,732,939	77.2	佐 賀 県	284	3,709,929	4,114,420	90.2
石 川 県	730	5,550,494	6,516,539	85.2	長 崎 県	546	5,595,394	5,121,502	109.3
福 井 県	735	9,079,906	7,716,356	117.7	熊 本 県	2,332	6,276,873	6,330,697	99.1
山 梨 県	630	7,249,402	5,692,375	127.4	大 分 県	1,173	8,781,463	6,170,789	142.3
長 野 県	2,598	13,560,641	16,603,370	81.7	宮 崎 県	340	3,704,724	3,009,409	123.1
岐 阜 県	705	12,444,846	10,940,848	113.7	鹿児島県	764	4,806,414	4,908,849	97.9
静岡県	1,211	12,789,806	16,986,911	75.3	沖 縄 県	277	4,768,807	7,024,729	67.9
愛 知 県	5,543	46,871,469	40,124,617	116.8	合 計	83,816	787,088,711	720,882,194	109.2
三 重 県	1,867	10,388,328	10,137,805	102.5					

(参 考)

最近における「NHK海外たすけあい」の最終実績

平成24年度（第30回）	700,242,272円
平成25年度（第31回）	572,957,357円
平成26年度（第32回）	605,075,037円
平成27年度（第33回）	715,267,248円
平成28年度（第34回）	635,829,119円
平成29年度（第35回）	704,476,254円
平成30年度（第36回）	756,095,488円
令和元年度（第37回）	656,561,824円
令和2年度（第38回）	750,388,183円
令和3年度（第39回）	720,882,194円

Ⅳ 一般会計決算状況

1 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
歳 入	208,344,000 ^円	66,988,000 ^円	275,332,000 ^円	282,529,290 ^円	7,197,290 ^円
歳 出	208,344,000	66,988,000	275,332,000	222,382,183	△ 52,949,817
歳入歳出差引繰越額			60,147,107円		

(1) 歳 入

科 目	令和4年度 決 算 額	令和3年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 収 入	282,529,290 ^円	245,604,938 ^円	36,924,352 ^円	115.0%
(1) 社 資 収 入	217,223,991	177,149,730	40,074,261	122.6
(2) 委 託 金 等 収 入	0	663,252	△663,252	－
(3) 補助金及び交付金収入	2,410,018	1,948,572	461,446	123.7
(4) 繰 入 金 収 入	2,053,999	18,965,176	△16,911,177	10.8
(5) 雑 収 入	543,658	284,802	258,856	190.9
(6) 前 年 度 繰 越 金	60,297,624	46,593,406	13,704,218	129.4

(小数第2位四捨五入)

(2) 歳 出

科 目	令和4年度 決 算 額	令和3年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 費	222,382,183 ^円	185,307,314 ^円	37,074,869 ^円	120.0%
(1) 災 害 救 護 事 業 費	13,828,639	7,754,275	6,074,364	178.3
(2) 社 会 活 動 費	22,164,095	22,494,088	△329,993	98.5
(3) 国 際 活 動 費	2,578,673	771,520	1,807,153	334.2
(4) 指定事業地方振興費	1,866,499	0	1,866,499	－
(5) 地区分区交付金支出	10,717,493	10,462,399	255,094	102.4
(6) 社 業 振 興 費	22,022,574	21,589,110	433,464	102.0
(7) 基盤整備交付金・補助金支出	1,550,000	5,748,000	△4,198,000	27.0
(8) 積 立 金 支 出	86,371,484	58,576,609	27,794,875	147.5
(9) 総 務 管 理 費	27,026,582	28,629,189	△1,602,607	94.4
(10) 資産取得及び資産管理費	2,252,521	3,009,665	△757,144	74.8
(11) 本 社 送 納 金 支 出	32,003,623	26,272,459	5,731,164	121.8

(小数第2位四捨五入)

2 社会福祉施設特別会計（本部会計拠点区分）決算状況

(1) 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
収 入	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	不 用 額
支 出	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

収入支出差引額 0 円

(2) 前期末支払資金残高

前期末支払資金残高	0 ^円
-----------	----------------